

【IV. 指標による評価】

| 評価 | | 理由等 | 平均評価 |
|----|----|--|------|
| i | 達成 | 創業支援や企業誘致を推進するとともに、農林水産業や商工業・サービス業等の振興を図ることにより魅力ある仕事を創出し、目標を達成できた。 | 達成 |

【V. 施策に対する意見・提言】

| | |
|--|--|
| <p>○第10回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H31.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水田については多面的機能を有しているため、高収益作物の導入に向けた畑地への転換と併せて、防災面での棚田保全やブランド米づくりなど、水田の維持にも着目してほしい。 <p>○第9回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就業者の中には長続きしない方もおり、外国人技能実習生の活用も含め、その解決策について、行政と一緒に考えていきたい。 ・天然資源の減少や、燃油高などコスト面で経営が心配される状況の中、水産業の産出額を10%上げるというのは、非常に困難。 | <p>○第9回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継は、事業継続が可能という前提で、そこに人手不足・後継者不足という問題がある一方、廃業は、人口減少により事業が成立しないということで、廃業させるのか、地域の中で何らかの形で機能を維持するのかを考えるべき。 <p>○第8回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近、東京では九州という一括りのものに対して非常に魅力を感じていて、大分県はまず九州ナンバーワンを目指すのがよいのではないかと話を聞いた。県産品の福岡での販路開拓をしっかりと支援していただきたい。 ・今後、ラグビーワールドカップ等もあるが、インバウンドの問題でキャッシュレスの体制整備が非常に遅れているのでそのインフラづくりへの支援をお願いしたい。 ・おんせん県おおいたの拠点である別府市において、夜型観光メニューの開発が待たれる。 |
|--|--|

【VI. 推進上の課題と今後の展開について】

| |
|---|
| <p>本県の人口移動を見ると、依然転出超過が続いており、その大部分は20～24歳の若年層で、転出先は、福岡県や東京圏などの都市部に集中している。このような人口流出をくい止めるためには、農林水産業や商工業、サービス業、観光・ツーリズムなど、様々な分野で魅力ある仕事をつくり、仕事人が人を呼び、人が仕事を呼ぶ好循環を創出していく必要がある。</p> <p>農林水産業では、少子高齢化等による労働力不足に対応するため、引き続き県内外で移住就農等の相談会などの開催や、女性、高齢者、障がい者、外国人など多様な人材の活躍を促進するための就業環境の整備及び労働力マッチングシステムの充実等に取り組むほか、ICTやAI等の先端技術を積極的に活用して、生産性等を高め、農家所得の向上につなげる。</p> <p>商工業、サービス業では、若者や女性の活躍が期待できるような企業の誘致を強化するとともに、大分県版第4次産業革命“OITA4.0”を推進し、市場の拡大が見込まれるドローン産業の振興や条件不利地域への企業誘致に取り組むほか、生産性向上に資するIoTプロジェクト等の創出により、人手不足への対策及び県内企業におけるビジネスモデルの変革を促すとともに、創業者数の持続的確保及び女性の起業家創出に取り組む。</p> <p>観光・ツーリズムにおいては、年々増加する韓国・中国等東アジアに加えて、ラグビーワールドカップ2019開催を契機とする欧米・大洋州からの訪日外国人消費を確実に取り込むため、対象国に応じた旅行商品造成や、多言語コールセンター、キャッシュレス決済の導入等、受入態勢の整備を行うとともに、夜間における公共交通機関の充実と観光案内サービスの強化を行い、夜間営業の有効性について効果検証を行う。また、県域版DMOにおいては、観光データの収集・分析等による国内外への効果的な情報発信・誘客や魅力的なコンテンツ開発等を行うとともに、観光客の満足度向上のため域内事業者の育成・支援を行い、観光誘客による県経済への波及効果を高めていく。</p> |
|---|